

おごりと失敗から学んだこと

くらし事業部くらし係
リーダー 宮崎広太

旭グループをととても簡単に紹介

きららユニット・ほたるユニット 2ユニットで編成

お客様は各12名 計24名の方が入居

平均年齢 88.7歳

平均介護度 3.58



グループの年間目標

丁寧な介助と動き出しに合わせた介助で変色をつくらない
～基礎の介助方法を学び直し、自立支援に沿った関りができる～

昨年度は変色があまりにも多かった

今年度は減った！？

旭の最大の弱点は...

水分量の少ないユニットで有名

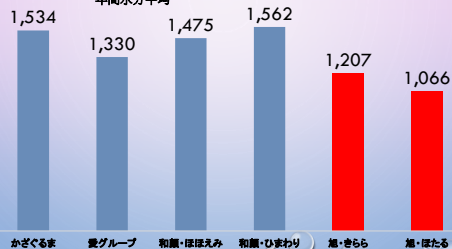
取り組みが続かない

個人の水分量が上がりにくい

「宮崎は飲まさないリーダー」
というレッテル

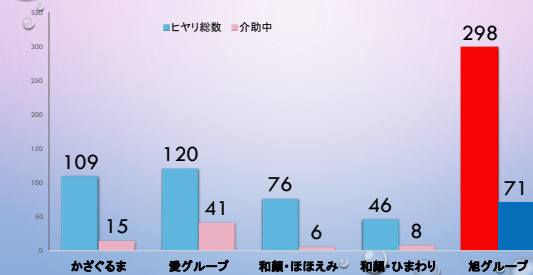
他のユニットと比べてみると 平成30年4月～平成31年2月

年間水分平均



水分以外にも弱いところがある(ヒヤリハット) 平成30年4月～平成31年2月


■ヒヤリ総数 ■介助中



ユニットスタッフの水分に対する意識も低かった

介護力向上委員会からの発信も浸透しにくい

ゼリーを作って提供
 飲める方にはもう一杯
 etc...



鈴木利子
サブリーダー


浸透しない最大の理由

リーダーが水分1,500mlの
 取り組みに向き合っていなかった



ユニットスタッフはそんなリーダーを見ていたと思う

リーダー(宮崎)の水分に対する「おごり」



宮崎

・1日1,500ml飲まなくても
 体調には問題ない
 ・飲める分だけ飲んで
 もらえたらいい


根拠はないが変に自信はあった

水分が体に必要不可欠だということは知っている

高齢になると体内の水分は約50%
 脱水になると体の不調があらわれる
 水分をとることで活動性や覚醒状態の向上
 排便を出しやすくする

でも、1,500mlにこだわる必要って？


理論はなんとなくわかる
 だけど...



宮崎

だけどさ！！

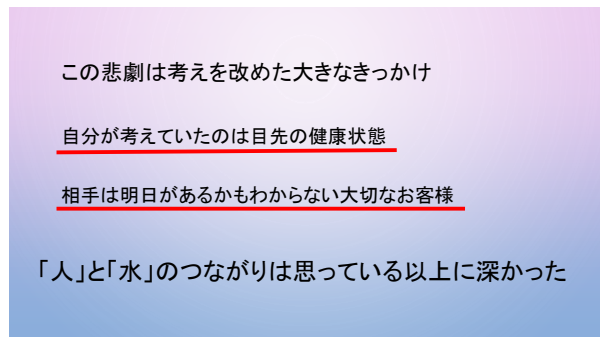
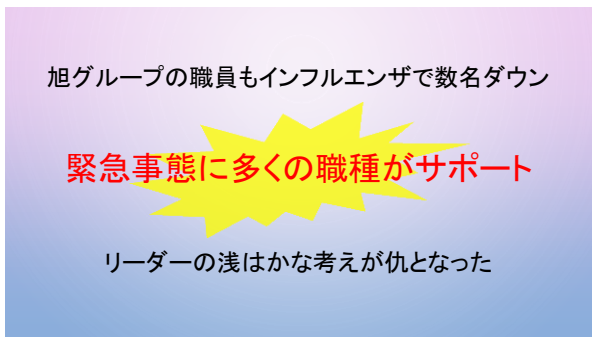
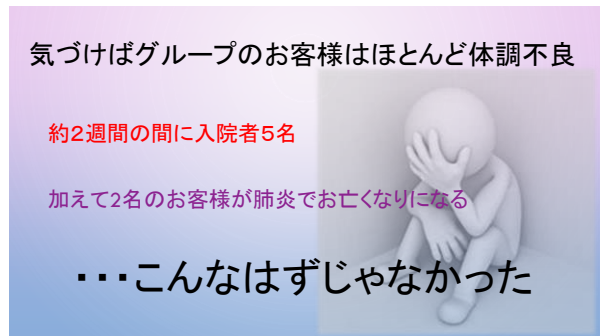
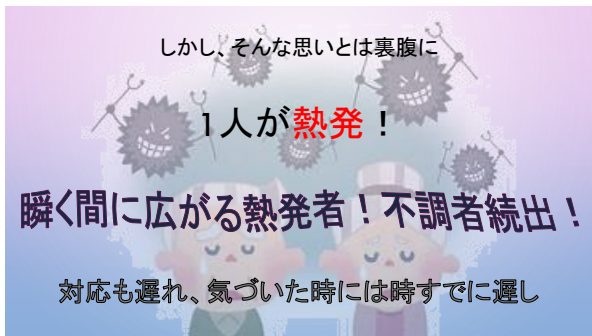
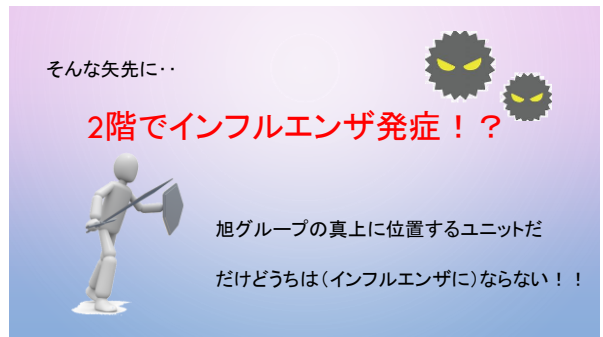
他のユニットと比べてほしくなかった



〇〇ユニットは1,500ml飲めてる
 旭は水分の意識が低い

と言われ、
 確かに... と感じる部分もあるが...

どのお客様も同じなの??



リーダーの役割として責任として

法人の方向性を伝えること？

リーダー自ら取り組むこと？

その背景にあるものが大切！

お客様を守りたいという信念を強く持つこと

以前の自分を変えるために実行していくこと

- ・飲めない方へ少しでも多く飲めるための工夫に取り組む
- ・日々の体調や水分量の確認を怠らない
- ・情報だけではなく意識の共有もできるよう伝え続ける

宮崎が驕らないための三か条

- 一、己の考えがすべて正しいと思うな
- 二、まず受け入れろ
- 三、冷静であれ